

1期

第2期に向けた方向性

2期

基本目標1 特色を活かしたしごとができる朝倉

- (1) 雇用の創出・地元就職
  - ① 若者の地元就職支援
  - ② 地域産業・企業の地方拠点化
  - ③ 女性の就業支援
  - ④ 企業誘致の推進
  - ⑤ 新たな地域産業の創出
- (2) 農林業、6次産業化・ブランド推進
  - ① 農林業の担い手の確保
  - ② グリーンツーリズムの推進 【⇒ 2期 基本目標2(1)②】
  - ③ 農業インキュベートの推進
  - ④ 農林水産物のブランド化・特産品づくり
  - ⑤ 6次産業化等の推進
- (3) 観光振興
  - ① 3つのICを活かした観光・交流の推進
  - ② 海外からの旅行者受入
  - ③ 旅行者の増加促進
  - ④ 観光PR等の専門化
  - ⑤ DMOの設置検討
- (4) 若い世代との連携 【⇒ 2期 基本目標4(3)②】
  - ① 若い世代との連携
  - ② 高校生の提言
- (5) 高齢者も働きやすい環境づくり 【⇒ 2期 基本目標4(2)②】
  - ① 高齢者の現役活躍
  - ② 農業インキュベートの推進<再掲>
- (6) 地場企業の育成・地域産業の強化 【⇒ 2期 基本目標1(1)③④】
  - ① 地域産業・企業の地域拠点化<再掲>
  - ② 地域産業の活性化
  - ③ 地域産業の基盤強化
  - ④ 新たな産業の創出<再掲>

基本目標2 誰もが住みたい朝倉

- (1) サポート体制の充実 【⇒ 2期 基本目標2(2)③】
  - ① 移住・定住情報の発信
  - ② 移住・定住相談窓口の開設
  - ③ 移住・定住フェア等への参加
  - ④ CCRCの促進 【⇒ 2期 基本目標4(2)②】
- (2) 住環境への支援
  - ① 住まいの確保への支援
  - ② 快適な住まいへの支援
  - ③ 空き家の利活用の推進
  - ④ 住みたくなるまちづくり
- (3) 若者への支援
  - ① 地元企業と高校の就職連携
  - ② 通勤通学の支援
  - ③ 孫ターンの支援
- (4) 交通の利便性の向上 【⇒ 2期 基本目標4(5)④】
  - ① 通勤通学の利便性の向上
  - ② 路線バス・コミュニティバスの充実
- (5) 買い物しやすいまちづくり 【⇒ 2期 基本目標4(5)③】
  - ① 出店しやすいまちづくり
  - ② 身近な場所での買い物の実現
  - ③ 外出困難な方への買い物支援

(市の第2期に向けた基本的考え方)  
第1期総合戦略の検証を踏まえるとともに、社会情勢の変化などによる新たな視点を踏まえ、時点修正を行うものとする。

【参考1】

(国の基本目標)

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しい人の流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(2期における新たな視点)

まち・ひと・しごと創生基本方針2019【R1.6.21閣議決定】

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
  - ・関係人口の創出・拡大
  - ・地方への資金の流れの強化
- (2) 新しい時代の流れを力にする
  - ・未来技術の活用(AI、IoT等) Society5.0の実現
  - ・SDGsを原動力とした地方創生
  - ・地方が世界と直接結びつく機会の活用
- (3) 人材を育て活かす
  - ・人材の掘り起し、育成、活躍の支援
- (4) 民間と協働する
  - ・地域づくりを担うNPO、企業等との連携
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
  - ・女性、高齢者、障害のある人、外国人など誰もが活躍できる地域社会の実現
- (6) 地域経営の視点で取り組む
  - ・地域の強みを最大限に活用して地域外から稼ぐ力を高める
  - ・地域における魅力的で多様な雇用機会の創出と所得の向上の実現

【参考2】

(福岡県の基本目標)

第2期福岡県総合戦略検討素案【R1.11.7圏域会議資料】

1. 「魅力ある雇用の場」をつくる  
(中小企業、次世代産業、観光、企業誘致等、農林水産業、就職支援)
2. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる  
(安定雇用、結婚応援、子どもと母性の健康、子育て)
3. 地方創生を担う人材を育て、地域で活かし、福岡県への人の流れをつくる  
(人材育成、進学就職、関係人口、移住定住)
4. 誰もが住み慣れた地域で暮らし、活躍できる、安全・安心で活力ある地域社会をつくる  
(医療・介護・生活支援、健康とスポーツ、多様な主体の活躍、共助社会、地域振興、環境との調和、社会資本)

基本目標1 特色を活かしたしごとができる

- (1) 地域経済の活性化
  - ① 就職支援【若者、女性の就職支援等】
  - ② 企業誘致の推進
  - ③ 新たな地域産業の創出【起業・創業の支援等】
  - ④ 経営安定の支援【未来技術、人材の確保・育成、販路等】
- (2) 農林業の振興
  - ① 生産性の向上【未来技術活用、基盤整備等】
  - ② 担い手の育成・確保【新規就農支援、インキュベート、経営体支援等】
  - ③ 新たな朝倉ブランドの開発【産地化、6次化、ブランディング等】
- (3) 観光振興
  - ① 地域資源の充実(磨き上げ、活かす。【3IC、3DAM、自然、サイクリング環境等】)
  - ② 旅行者の受入環境の充実【インバウンド、少人数旅行、快適な旅行環境等】
  - ③ 観光推進体制の強化【人材の確保・育成、地域間連携等】
  - ④ 効果的な観光PR

基本目標2 朝倉市への人の流れをつくる

- (1) 関係人口の創出・拡大
  - ① ふるさと納税の推進【ふるさと納税、企業版ふるさと納税】
  - ② 都市部住民等との交流促進【グリーンツーリズム、農山村体験等】
- (2) 移住定住の促進
  - ① UIターン支援【UIターン支援の促進、インターンシップ受入れ等】
  - ② 住まいの支援【住宅補助、リフォーム補助、空家バンク等】
  - ③ 暮らしの魅力の情報発信【サイトの充実、フェア等への参加、お試し移住等】
  - ④ 若者の地元定着【地元企業と高校の就職連携等】

## 1期

### 基本目標3 安心して結婚・出産・子育てができる朝倉

- (1) 親・子・孫三世暮らしの推進 【⇒ 2期 基本目標3(2)⑤へ】
- ① 親・子・孫三世の同居又は近居に向けた支援
  - ② 孫ターンの支援<再掲>
- (2) 出会い創出・婚活支援・結婚
- ① 若者の出会いづくり
  - ② 様々な婚活の支援
- (3) 出産・子育てがしやすい環境づくり
- ① 安心できる出産の支援
  - ② 子育て世帯の支援
  - ③ 保育の充実
  - ④ 学童保育所の充実
  - ⑤ 子どもの健康づくり
  - ⑥ 子育て世代の経済的負担の軽減
  - ⑦ 通勤通学の利便性の向上<再掲>
  - ⑧ 親・子・孫三世の同居又は近居に向けた支援<再掲>
- (4) 子育てに目を向けた学校教育
- ① 相談体制の充実
  - ② 生活習慣の定着と社会性の育成
  - ③ 学校教育の充実
  - ④ 心とからだの教育
- (5) 地域で子育て
- ① 地域の子育て環境づくり
  - ② 地域と学校の連携

### 基本目標4 地域の個性で輝く朝倉

- (1) 住み慣れた地域で安心して生活できる基盤の整備
- ① 定住できる環境づくり
  - ② 快適な住宅エリアづくり
  - ③ 空き家の利活用の推進<再掲>
  - ④ 環境にやさしく、災害に強いまちづくり
  - ⑤ 大型事業とまちづくり
- (2) 地域コミュニティの活性化
- ① ひらかれた地域コミュニティ
  - ② 地域コミュニティ活動の推進
  - ③ 地域アイデンティティの推進
  - ④ 地域の子育て環境づくり<再掲>
- (3) 地域を支援する人材の育成と活用
- ① 地域を支援する人材の育成と活用
  - ② 高校生の提言<再掲>

### 基本目標5 全力で魅力を発信する朝倉 【⇒ 2期各基本目標各項目へ振り分け】

- (1) 知名度向上・PR
- ① シティプロモーションの拡充
  - ② ふるさと納税での情報発信
  - ③ 多様な情報発信
  - ④ 地域資源を活かしたPR
- (2) マスメディアの活用
- ① 積極的な情報提供
  - ② 情報提供の拡充
- (3) 大都市圏・県内での情報発信
- ① 移住・定住フェア等への参加<再掲>
  - ② 全国朝倉会等との連携
  - ③ 朝倉市出身者との連携
  - ④ 公用車での宣伝

## 第2期に向けた方向性

(市の第2期に向けた基本的考え方)  
第1期総合戦略の検証を踏まえるとともに、社会情勢の変化などによる新たな視点を踏まえ、時点修正を行うものとする。

#### 【参考1】

(国の基本目標)

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
2. 地方への新しい人の流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(2期における新たな視点)

まち・ひと・しごと創生基本方針2019【R1.6.21閣議決定】

- (1) 地方へのひと・資金の流れを強化する
- ・関係人口の創出・拡大
  - ・地方への資金の流れの強化
- (2) 新しい時代の流れを力にする
- ・未来技術の活用(AI、IoT等) Society5.0の実現
  - ・SDGsを原動力とした地方創生
  - ・地方が世界と直接結びつく機会の活用
- (3) 人材を育て活かす
- ・人材の掘り起し、育成、活躍の支援
- (4) 民間と協働する
- ・地域づくりを担うNPO、企業等との連携
- (5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ・女性、高齢者、障害のある人、外国人など誰もが活躍できる地域社会の実現
- (6) 地域経営の視点で取り組む
- ・地域の強みを最大限に活用して地域外から稼ぐ力を高める
  - ・地域における魅力的で多様な雇用機会の創出と所得の向上の実現

#### 【参考2】

(福岡県の基本目標)

第2期福岡県総合戦略検討素案【R1.11.7圏域会議資料】

1. 「魅力ある雇用の場」をつくる  
(中小企業、次世代産業、観光、企業誘致等、農林水産業、就職支援)
2. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる  
(安定雇用、結婚応援、子どもと母性の健康、子育て)
3. 地方創生を担う人材を育て、地域で活かし、福岡県への人の流れをつくる  
(人材育成、進学就職、関係人口、移住定住)
4. 誰もが住み慣れた地域で暮らし、活躍できる、安全・安心で活力ある地域社会をつくる  
(医療・介護・生活支援、健康とスポーツ、多様な主体の活躍、共助社会、地域振興、環境との調和、社会資本)

## 2期

### 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 結婚応援
- ① 出会い・婚活の支援
- (2) 出産・子育てがしやすい環境づくり
- ① 母子保健の充実【妊娠・出産への支援、乳幼児保健の充実等】
  - ② 子育て支援サービスの充実【子育て世代包括支援センター、多子世帯支援等】
  - ③ 保育の充実【保育所整備・運営支援、質の高い保育の確保】
  - ④ きめ細やかな対応が必要な子ども・世帯への支援【虐待防止、子どもの貧困】
  - ⑤ 住宅支援【子育て世帯の住宅支援、三世同居の支援等】
  - ⑥ 子育て負担の軽減【働き方改革、インフル助成、就学援助、医療費助成等】
- (3) 地域の子育て支援
- ① 学童保育所整備・運営支援
  - ② 地域と連携した子育て支援【放課後子ども教室、おらが学校委員会】
- (4) 学校教育の充実
- ① 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成
  - ② 教育環境の充実
  - ③ 教育支援の充実

### 基本目標4 誰もが活躍できる、安全安心で住みよいまちをつくる

- (1) 健康寿命の延伸
- ① 市民の健康づくりの推進【生活習慣病、介護予防等】
- (2) 多様な主体の活躍と協働の推進
- ① 多様な主体の活躍の支援【女性、高齢者、障がい者、外国人】
  - ② 地域コミュニティの活性化【全世代・全員活躍のまちづくり】 ※CCRCはここに含む
  - ③ 協働の推進
- (3) 地方創生を担う人材の育成
- ① 地域を支える人材の育成と活用【地域おこし協力隊、集落支援員等】
  - ② 若い世代との連携【大学・高校との連携強化、高校生の提言等】
- (4) 災害に強いまちづくり
- ① 防災・減災対策の推進【地域強靱化、地域防災体制の強化等】
- (5) 時代にあった、持続可能なまちづくり
- ① 未来技術の活用によるまちづくり【Society5.0の実現等】
  - ② 集約型まちづくりの推進【立地適正化、都市機能の適正配置、にぎわいの創出等】
  - ③ 中山間地域等の生活支援【買い物支援、交通手段、福祉等】
  - ④ 交通環境の充実【交通手段の確保、公共交通の利便性向上等】